

2015 (平成27)年7月1日 第39号

社会福祉法人 十字の園

ぶどうの木

(ヨハネ福音書 15章)

発行: (福) 十字の園法人事務局
理事長 平井 章

住所: 〒431-1304
静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11
tel 053-414-1400
fax 053-420-2100



養護老人ホーム「平和の杜」 お弁当を食べに満開の「さくらの里(大室山)」へ

『私の趣味』

伊東市立養護老人ホーム平和の杜 施設長 鈴木啓之

伊東と言えば海！小学生の頃、毎日の様に釣りに行っていました。そんなある日、伊東港釣り大会があり、ナント小・中学生の部で大型のメジナを釣り優勝してしまい火が点いたのを覚えています。「釣りキチ三平」が分かる人が居ますか？最初は、浮き釣り・仕掛けでしたが、投げ釣りを覚え、キスを良く釣りに行きました。イソメ・ゴカイも自分で取り、ポイントに投げる練習や遠くに飛ばす練習も手の豆が破れるほどしたものです。全国投げ釣り大会に初挑戦したときには自分の力無さを思い知らされ伊東に戻ってきました。成人を迎える頃になると、バドミントンと飲酒かな？



戦争を知らない世代よ、世界平和のために私たちは何ができるか、共に考えよう。

1 平和日本として世界と共に歩む

戦後処理のために立てられた東久邇宮稔彦総理大臣から賀川豊彦に内閣参与として「日本の道義の振興と平和への切り替えのためにあなたに御協力を願いたい」と就任の要請があった。戦時中から日本の行くべき道を祈ってきた賀川は良い機会と就任を承諾し、平和日本として、世界と共に歩もうと「世界国家としての出発」を提言した。(国際平和協会「世界国家」より)

2 日本国憲法第9条(戦争の放棄)

「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。(2)前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。」

抑止力を高めるのではなく、憲法9条に解釈を加えないことが平和への道だと思う。長谷川保は憲法は押し付けられたものではなく日本の国会で作ったものだと言っている。特に社会保障に関する25条は長谷川保の尽力によってできたのだ。

3 矛(ほこ)と盾(たて)

「この矛はどんな盾をも突き通すことができ、この盾はどんな矛でも突き通すことができない」と商売をしていた。「それではお前の矛でお前の盾を突けばどうなるか」と問われた。「矛盾」の語源である。武力(矛)と防衛(盾)の論議は「平和」への矛盾である。聖書の中に「剣をさやに納めなさい。剣を取

る者は皆、剣で滅びる(マタイ)」、「邪悪な日によく抵抗し……神の武具を身に着けなさい。真理を帯として腰に締め、正義を胸当てとして着け、平和の福音を告げる準備を履物としなさい。信仰を盾として取りなさい(エフェソ)」のみ言葉を覚えたい。



4 過去の文献を読んで判断しよう

1945年7月26日の「ポツダム宣言」の受諾によって戦争は終わった。無条件降伏で得たのは「日本国国民における民主主義的傾向の復活」、「言論、宗教及び思想の自由並びに基本的人権の尊重」である。「サンフランシスコ講和条約」、戦後50年の「村山首相の談話」、60年の「小泉首相談話」、「慰安婦問題」なども読んでほしい。韓国と中国は日本政府の態度に何で反発しているのか。根を見てほしい。

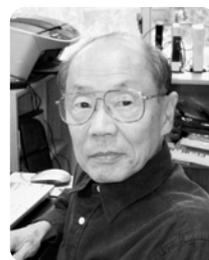
5 「和解」こそ平和への道

広島や長崎、沖縄では戦争の真実を伝える「語りべ」が少なくなったと聞いた。矛盾の「対立」ではなく「和解」こそ平和への道だ。聖書にある「和解」のギリシャ語の言語の「変える」や「変わる」が「和解する」という意味になった。「和解」とは、十字架におけるイエスの死の結果として起こった人類の新しい位置を示すものである。そこから、「救い・義認・平和」という言葉につながっている。イエスの十字架の死によって「人間と神との和解」が実現したのである。今だからこそ世界平和に関心を持って自らの意見をもつようにしよう。

「ことば」

社会福祉法人十字の園 評議員 斎藤一彦

私は昭和7年生まれで、子供の頃脊椎カリエスが悪化して3年ほど寝たきりになり、学校を休学しました。私を含めて同年代の方々は尋常小学校に入学し、戦時下、名称は国民学校に変わり、卒業は戦争直後となり小学校卒でした。そして戦後すぐの6・3・3・4制学制改革で登場した新制中学校に入学しました。ここまでお読みいただくと、「なるほどあなたは日中戦争頃に学齢を迎え、第2次大戦中(大東亜戦争中)は小学生で、戦後すぐの新制中学、新制高校に通った世代ですね」、とご理解いただけることと思います。



そこで一挙に70年を飛ばして今です。インフラ、ガイドライン、ケース、ニード、トラウマ、レジーム、リスク、スキル、フォーラム、クール、サミット、プロジェクト、バスルーム、リクルートスーツ、シェルター、リコール、メディア、ツール、ルート、ロック、アクション、アセスメント、シニア、リフレッシュ、コミュニケーション、マインド、コーディネイト、サイト、プレッシャー・・・というありさまです。これらのカタカナ用語は毎日の新聞から拾いました。

「打者は打者箱に入りました」「投手投げました」「いい球、良しっ」これはラジオの野球中継放送を題材にした落語の一節で、その奇妙さは今になっても忘れることが出来ません。子供時代、英語は口にはしてはいけない言葉でした。それが今は上のように英語(カタカナ語)の洪水です。バッターボックスはバッターボックスで、ストライクはストライクでかまいませんが、どうか高齢者と接する方々、否、高齢者ばかりではありません、日本の国内で暮らす日本人の皆様、あるいは世界は狭くなった、世界の多くの人々と意思の疎通がはかれなければ国は立ち行かないとお考えの皆様も、せめて日常はどなたにも分かる言葉を使うように心掛けていただけると、社会はもっとお互いが分かり合えて明るくなるように思います。

「介護記録システム『ちょうじゅ』を導入して」

浜松十字の園 総務課 金谷一作

昨年、浜松十字の園は、介護記録システム「ちょうじゅ」を導入しました。今までは、ご利用者の日常記録はノートに記録していましたが、それは、iPadやパソコンで入力する方式に変わりました。導入して初めの頃は、スマートフォンや、携帯電話を使い慣れない職員からは、「使い方が分からない」「今までのやりの方が早い」といった声も聞こえましたが、3ヶ月もすれば、ほぼ全員慣れ、1年経った今では、当たり前のように使えるようになりました。

「ちょうじゅ」を導入したことによるメリットは、情報の共有が、より素早く簡単になったことです。ホーム画面の「申送り」を見れば、注意すべき方や状況が、把握できます。気になっているご利用者の最近の体調を知りたい場合も、「ちょうじゅ」で検索すれば、すぐに表示されます。今まで、現場にいなければ分からなかった情報が、事務所からでも見えるようになったのは大きな変化です。100人以上の職員が共に働いているのですから、全員から、話を聞いてまわるよりも、気づいたことを、1カ所にまとめて、見る方が効率的であることは明らかです。

浜松十字の園は、歴史が長い分、昔ながらのやり方が残っています。それは、素晴らしい面もありますが、技術の進化した今の時代なら、もっと便利なやり方があるはずです。現状に満足して立ち止まってしまうと、成長はありません。変わることを恐れず、これからも、どんどん新しい技術を導入し、挑戦していきたいと思います。もちろん、理念や人を大切にすることは、変わらないままに。



〔画像提供：株式会社富士データシステム〕

2014(平成26)年度 決算報告

(社会福祉法人 新会計基準)

財産目録

(単位:千円)

資産・負債の内訳	金額
I. 資産の部	
1. 流動資産合計	826,677,016
現金	333,525,632
預金	473,974,159
未収補助金	12,822,679
未収掛金	864,706
未収掛料	179,983
未収掛料	523,074
未収掛料	2,660,267
未収掛料	1,777,116
未収掛料	349,400
2. 固定資産	
(1) 基本財産合計	3,878,683,176
土地	743,637,431
建物	3,135,045,745
(2) その他の固定資産合計	760,286,336
土地	90,171,700
建物	82,128,923
構築物	62,232,557
車両運搬具	12,493,795
器具及び備品	95,773,654
有形リース資産	5,754,049
リース資産	3,537,615
リース資産	11,143,683
リース資産	673,177
リース資産	49,225,407
リース資産	95,054,000
リース資産	700,000
リース資産	203,020,000
リース資産	24,225,000
リース資産	3,000,000
リース資産	20,000,000
リース資産	240,500
リース資産	861,726
リース資産	50,550
リース資産	4,638,969,512
固定資産合計	5,465,646,528
II. 負債の部	
1. 流動負債合計	323,364,789
事業未払金	56,222,522
1年以内返済予定設備資金借入金	138,762,000
1年以内返済予定リース債務	1,943,844
預り金	8,934,037
職員預り金	4,240,301
引当金	113,262,085
2. 固定負債	
固定負債合計	1,551,782,612
設備資金借入金	1,403,693,000
リース債務	3,810,205
退職給付引当金	49,225,407
長期預り金	95,054,000
負債合計	1,875,147,401
差引純資産	3,590,499,127

貸借対照表内訳表

単位:千円

勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産	826,677	流動負債	323,365
現金	333,526	短期運営資金借入金	0
預金	473,974	事業未払金	56,223
未収補助金	0	その他の未払金	0
未収掛料	12,823	1年以内返済予定設備資金借入金	138,762
未収掛料	0	1年以内返済予定リース債務	1,944
未収掛料	0	1年以内支払予定長期未払金	0
医療・療養費等材料品	865	預り金	8,934
掛料	0	職員預り金	4,240
仕商品	0	前受金	0
原立	180	前受収益	0
材	523	仮受金	0
替	2,660	賞与引当金	113,262
料	1,777	その他の流動負債	0
金	349		0
1年以内回収予定長期貸付金	0		0
短期貸付金	0		0
仮払金	0		0
徴収不能引当金	0		0
	0		0
固定資産	4,638,970	固定負債	1,551,783
		設備資金借入金	1,403,693
基本財産	3,878,683	リース債務	3,810
土地	743,637	退職給付引当金	49,225
建物	3,135,046	長期預り金	95,054
		その他の固定負債	0
その他の固定資産	760,286	負債の部合計	1,875,147
土地	90,172	純資産の部	
建物	82,129	基本金	870,123
構築物	62,233		
車両運搬具	0	国庫補助金等特別積立金	1,758,654
器具及び備品	12,494		
リース資産	95,774		
有形リース資産	5,754		
リース資産	3,538	その他の積立金	250,945
リース資産	11,144	人件費積立金	20,000
リース資産	0	施設整備等積立金	203,020
リース資産	673	修繕費積立金	24,225
長期貸付金	49,225	備品等購入積立金	0
退職給付引当金	95,054	工賃変動積立金	700
リース資産	700	設備等整備積立金	3,000
施設整備等積立資産	203,020		
修繕費積立資産	24,225	次期繰越活動増減差額	710,778
備品等購入積立資産	20,000	次期繰越活動増減差額	710,778
工賃変動積立資産	3,000	(うち当期活動増減差額)	9,408
設備等整備積立資産	241		
長期前払費用	862	純資産の部合計	3,590,499
その他の固定資産	51		
その他の固定資産	51	負債及び純資産の部合計	5,465,647

資金収支計算書

単位:千円

勘定科目	決算額
収入	
介護保険事業収入	2,606,930
老人福祉事業収入	335,917
就労支援事業収入	12,878
障害福祉サービス事業収入	204,221
医療事業収入	21,682
借入金利息補助金収入	1,163
経常経費寄附金収入	21,782
受取利息配当金収入	212
その他の収入	25,582
事業活動収入計(1)	3,230,366
支出	
人件費支出	2,283,841
事業費支出	520,392
事務費支出	241,828
就労支援事業支出	13,023
利用者負担軽減額	5,292
支払利息支出	15,239
その他の支出	11,980
流動資産評価損等による資金減少額	0
事業活動支出計(2)	3,091,596
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	138,770
収入	
施設整備等補助金収入	17,960
設備資金借入金収入	0
固定資産売却収入	0
施設整備等収入計(4)	17,960
支出	
設備資金借入金元金償還支出	138,762
固定資産取得支出	46,072
固定資産売却・廃棄支出	356
ファイナンス・リース債務の返済支出	1,944
その他の施設整備等による支出	28
施設整備等支出計(5)	187,162
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△169,202
収入	
長期貸付金回収収入	1,832
積立資産取崩収入	34,637
その他の活動による収入	3,313
その他の活動収入計(7)	39,782
支出	
長期貸付金支出	316
積立資産支出	135,019
その他の活動による支出	9,425
その他の活動支出計(8)	144,760
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△104,978
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)	△135,410
前期末支払資金残高(12)	891,987
当期末支払資金残高(11)+(12)	756,577

事業活動計算書

単位:千円

勘定科目	当年度決算額
収入	
介護保険事業収益	2,606,930
老人福祉事業収益	334,927
就労支援事業収益	12,878
障害福祉サービス事業収益	204,221
医療事業収益	21,682
経常経費寄附金収益	21,782
サービス活動収益計(1)	3,202,420
費用	
人件費	2,272,460
事業費	515,519
事務費	241,828
就労支援事業費用	12,537
利用者負担軽減額	5,292
減価償却費	247,121
国庫補助金等特別積立金取崩額	△106,262
徴収不能額	0
その他の費用	0
サービス活動費用計(2)	3,188,496
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	13,923
収入	
借入金利息補助金収益	1,163
受取利息配当金収益	212
その他のサービス活動外収益	25,582
サービス活動外収益計(4)	26,957
費用	
支払利息	15,239
その他のサービス活動外費用	11,996
サービス活動外費用計(5)	27,235
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	△278
経常増減差額(7)=(3)+(6)	13,645
収入	
施設整備等補助金収益	17,960
固定資産受贈額	0
固定資産売却益	0
その他の特別収益	2,164
特別収益計(8)	20,124
費用	
固定資産売却損・処分損	356
国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0
国庫補助金等特別積立金積立額	19,960
その他の特別損失	4,045
特別費用計(9)	24,361
特別増減差額(10)=(8)-(9)	△4,237
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	9,408
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額(12)	807,116
当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	816,524
その他の積立金取崩額(15)	15,380
その他の積立金積立額(16)	121,126
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	710,778

報告全文は後日ホームページに掲載致しますので、詳細はそちらをご覧ください。

各施設からの事業報告

● 法人事務局

事務局長 鈴木 新

2014年度は、次の時代に向けた組織づくりという法人重点目標に取り組みました。東部・西部地区及び各施設の連携協力や地区統括理事との連絡調整を円滑にすすめることに留意しました。各種会議、研修、十字の園大会等を通じて、本部と各施設職員との良好なコミュニケーションをはかることができました。西部地区では事務業務の見直しをおこない、社会保険一本化を実現しました。今後の社会福祉法人制度改革への対応は重要な課題です。

● 浜松十字の園

施設長 山本隆弘

その人らしく安心して暮らしていただけるために職員のスキルを高める取り組みを行いました。喀痰吸引や認知症ケア、感染症や事故対策などの学びを更に深め、スキルの向上に努めました。今年の年明けに施設内でインフルエンザが流行しましたが、研修での学びを活かし、大事に至ることなく収束できました。

多職種協働で支援を行う中、情報の共有は欠かせません。昨年度導入した記録システムを本格運用させ、職種間の連携強化に取り組んだ一年でした。

● アドナイ館

施設長 上野貢一

法人理念である聖句「夕暮れになっても光がある」の具現化に努めました。地域包括ケアシステム構築準備の年として、ハウスでは、自分らしい「安心・安全」な暮らしの支援を目指し個別支援計画の作成、特別援助サービスの見直し、AED設置を行いました。デイでは、在宅で住み続ける為の通所介護計画に基づく支援、口腔ケア充実の為の手洗い改修工事を行いました。調理では、管理栄養士による栄養カルテ作成、年4回の利用者懇談会を実施しました。

● 第2アドナイ館

施設長 鈴木淳司

2014年度は、トレーニング型デイサービスぷらすワンが本格的に始まり、その中で地域の方から、介護保険外利用の要望もあり、月曜の午前中にぷらすワンの機器を使い運動の機会を提供しています。その事もあり、地域にも知られ、ぷらすワンを利用される方が増えました。

ケアハウスでは、看取期の方へのケアを行い、遠方のご家族も、頻繁に足を運んでくださり、多職種が連携し最後まで第2アドナイ館でケアをさせて頂く事ができました。

● 御殿場十字の園

施設長 宮島克利

2014年4月開所のグループホーム笑みの里では、利用者さんの「出来ること」や「その人らしさ」を大切にした支援に心がけ、人数も順調に増え、年度末の外部の第三者評価では高評価をいただきました。

特養では、全国老協施主催の介護力向上講習会への参加が3年目となり、自立支援ケアに一層取り組み、介護度改善などの効果もありました。設備等については、3台の車両や食器洗浄機など更新できました。

● 伊豆高原十字の園

施設長 森 茂廣

新築移転後4年目を迎えた伊豆高原十字の園の直面する最大の課題は、『健全な運営の達成』にあり、理念の明確化、意識改革、人材育成、組織改革、ユニットケアの刷新、ケアの共有、施設の地域化、在宅サービスの総合化、地域包括ケアシステムへ向けた発進等々、必要なことには、可能な限りチャレンジしてきました。成果は着実に顕われつつあり、新年度には、『地域福祉の拠点』という本来の課題へ向けた新たな挑戦が始まっています。

● 松崎十字の園

施設長 三條洋二

2014年度は、特養で23名、障害者支援で2名の利用者が施設の中で職員、家族に看取られて天に召されました。召された利用者への職員たちの関わり方には、本当に感謝であります。またその事をご家族が受け止めて下さり感謝であります。就労支援では、地域の特産に選ばれる商品開発が出来ました。課題の多い施設ですが神様のお守りの中にあつた一年であつたと感謝をいたします。ボランティアの方々や教会の関わりにも感謝であります。

● 伊東市立養護老人ホーム 平和の杜

施設長 鈴木啓之

2014年度は、4月に施設長が交代し、新たなスタートの年となりました。通所系サービスでは兼務職員を増やし、連携、協力体制の強化を行ないました。

また伊東市からの指定管理運営についても、今後10年の更新となり、将来の施設運営についても協議をはじめます。伊豆高原十字の園との協力体制も日々の交わりを通して少しずつ進んでいます。

【笑顔が一番】

浜松十字の園 ショートステイ 藤田絵美

5月の初め、毎年恒例、熊野の長藤を見に行ってきました。天候にも恵まれ、藤の花も見事に満開で、見に来ている人たちも笑顔満開、とても素敵な場所でした。その中でおしゃべりしたり、おやつを食べたり、利用者さん・職員共に楽しいひとときを過ごすことが出来ました。帰りの車の中では、「今度はお弁当を持ってゆっくりするのも良いね」「それにしても見事だったね」との言葉が聞かれ、楽しんで頂けたのだなと嬉しくなりました。



ショートステイの目標である「笑顔の絶えない場所を作る」ことが出来ればと、思っています。

ショートステイでは毎月ひとつ以上はイベントをしようと、持ち回りで季節に合わせたイベントを計画しています。収穫祭に流し素麺、花火、お花見など、職員も一緒に楽しんでしまっています。6月には奥山まで蛍を見に行こうと、計画中です。日々の関わりはもちろん、イベントを通して、ショ



【「遠州一座」600回記念公演を細江デイで】

細江デイサービスセンター 大谷光宏

遠州一座の皆さんは、静岡県中西部で活動するシニアの方々の大道芸グループ。2006年に立上げされ、福祉施設、保育園、その他幅広い分野において、ボランティア公演を継続中。300回記念には、浜松市長への表敬訪問。600回の記念公演はついに細江デイサービスセンターを舞台に開催して下さいました。

記念公演の当日には、バルーンアートのボランティアさんに協力して頂き、紅白のバルーンアーチで華やかに



会場づくりをし、職員からは手作りのくす玉、花束、美味しいお茶菓子でお祝いさせて頂きました。

遠州一座の皆さんには、3年ほど前よりお越し頂いており、デイサービスのご利用が週1回の方でも全員が楽しむことができるよう、曜日を変える計らいまでして下さいます。遠州南京玉すだれ、遠州獅子舞、七福神、相撲甚句、手品、皿回し等、数多くの演目を披露、参加されておられる方々と一緒に皿を回したり、玉すだれに触れてみたりと、観る

だけでなく上手に巻き込んで下さり、会場は毎回笑いが途切れることはありません。

今後も継続して、笑いを運んで下さるよう、願っています。



【マイクロバス購入にむけて】

法人事務局 柳川 幸

第2アドナイ館の前に停められている白と赤色の古いマイクロバスをご覧になったことはありますか。アドナイ館に併設されている細江デイサービスが開設されたときに、細江町（当時）から寄贈されたもので、何と22年間も使用されているのです。

時には職員の研修のために松崎まで行ったり、時には近隣の高校の部活動遠征にも使われたりもしてきました。今でもげんきプロジェクト「根洗荘」の外出や外食、アドナイ館の買



島田市ばらの丘公園へおでかけ
(げんきプロジェクト根洗荘)

物ツアーなどの送迎にも使われています。アドナイ館に入居されている方の手作りカーテンが掛けられるなど長年愛されてきましたが、年々痛みも激しくなり、とうとう雨漏りもするようになってしまいましたので、この度新しく購入を検討することとなりました。

2015年になってからはご寄附をお願いし、多くの温かいお申し出の結果、目標達成額まであと一歩のところまで来ました。引き続き皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

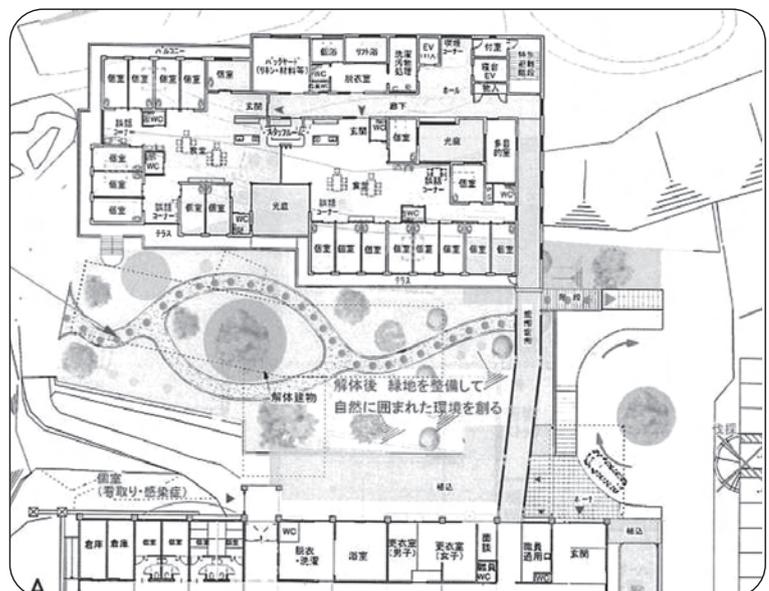
【西部地区組織再編成】

第2アドナイ館 鈴木淳司

浜松十字の園の建替計画が本格的になってきました。大きな事業となり準備に向けて体制も整えて行かなくてはなりません。また、地域ケアシステムづくりに向けた取り組みも具体的にしていく必要があります。その為、十字の園西部地区では、2015年度より組織を再編し、新たな取り組みをスタートしました。

具体的には、のんき、あんき、居宅支援事業所、ヘルパーステーションほそえ、げんきプロジェクト根洗荘が、ケアハウス第2アドナイ館のグループとなりました。これからは、地域のニーズに応えるサービス提供と、地域と繋がった特養の姿が必要だと思えます。

地域生活が難しくなり、特養へ入っても、地域と関わりが切れる事が無い関係性を作り、最期は家に戻る事も可能な姿が特養と地域の関係性の中につくられると良いと思えます。建替で新しくなる浜松十字の園が地域でそんな存在になるように、西部地区の計画を進めて行きたいと思えます。



6月時点での浜松十字の園建替予定図

2015(平成27)年度 新規採用者

4月1日の辞令交付式で十字の園に新しい仲間が加わりました。



☆浜松十字の園：9名

(介護職員) 伊賀千晃・桶田教仁・富田健義
永井忠道・萩田妙子・平石恵美
古屋たか子・榎本賛・村上信子

☆御殿場十字の園：12名

(介護職員) 朝倉涼介・吾妻正也・飯田力太郎
伊倉葉子・及川レイヤ・長田淳
勝亦達也・須摩敏幸・諏訪亜里沙
田中恵・松岡繁・横川明美

☆伊豆高原十字の園：7名

(介護職員) 岡本由美子・土屋友美
(看護職員) 青木由美
(介護支援専門員) 太田千子・杉山勢津子・滝瀬直子
(機能訓練指導員) 古屋親代

☆アドナイ館：1名

(介護職員) 鈴木孝昌



☆松崎十字の園：1名

(給食職員) 小林貴重

☆平和の杜：1名

(看護職員) 鈴木みどり

☆第2アドナイ館：4名

(介護職員) 上村和美・小池弘子
鈴木冴理・宮崎直子

計35名(辞令交付式には31名が出席しました)

温かいご支援をありがとうございます！



2014年度も多くの皆様から心温まるご支援とご寄附を賜り、誠にありがとうございます。皆様方から寄せられたご寄附は、より良い施設づくりのための施設整備及び備品購入に充てさせていただきます。

今後とも、福祉共生社会の成熟に貢献しつつ、皆様の声に応える施設として活動する十字の園へのご支援を宜しくお願い致します。

法 人 事 務 局	55件	3,936,506円
浜 松 十 字 の 園	42件	1,459,000円
御 殿 場 十 字 の 園	101件	2,291,487円
伊 豆 高 原 十 字 の 園	35件	468,656円
松 崎 十 字 の 園	25件	677,000円
ア ド ナ イ 館	79件	8,050,700円
御 殿 場 アドナイ館	6件	146,091円
オ リ ブ	2件	20,000円
伊東市立養護老人ホーム平和の杜	14件	1,032,743円
第 2 アドナイ館	19件	3,700,000円
合 計	378件	21,782,183円

東日本大震災復興支援募金 ご協力を!!

皆様の温かい御支援を
お待ちしております!!

〒431-1304

静岡県浜松市北区細江町中川 7220-11

社会福祉法人 十字の園

理事長 平 井 章

振込口座 静岡銀行細江支店 普通 0015345

あ と
が き

5月とは思えない暑さが続く中、妻と二人で伊豆市にある「もちこしオートキャンプ場」に行きました。野外で食事をしてテントで寝るだけのシンプルなキャンプでしたが、川の音や鳥の声、太陽の光を体全体で感じることで、日常生活をリセットすることができました。ゆっくり食事を摂り、いつもよりスローテンポで会話をするだけで、気持ちが楽になります。普段どれだけ「やるべきこと」、「やらねばならないこと」にしばられているか・みなさんも機会があればキャンプにでかけてメール、テレビ、家事等から離れてみてはいかがでしょうか？

伊東市立養護老人ホーム「平和の杜」 生活支援員：山田敬紀

(掲載されています写真については、ご本人またはご家族の承諾を頂いています。)